

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第 64 号 (H28.12.10)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 今年も師走となりました。毎年ですが、一年すぎるのが早く感じますね。年齢を重ねてきたからでしょうか。ただ慌ただしさの中にも、各地のイルミネーションの輝きを美しく感じています。

皆様のご支援により、28 事業年もこれまで以上にルアノ地区をはじめ、各地区での医療支援活動や啓発活動、井戸掘削、簡易トイレのモデル設置、さらにはマラリア蚊殺虫剤噴霧活動などを行うことができました。

改めまして皆様のご支援に感謝申し上げます。

今回のニュースでは、山元香代子先生からの現地活動報告 (11 月の活動状況 2 回分) と、これまでのニュースに対していただいた皆様からの励ましや感想メールを併せてお伝えします。

会の活動から

・ J I C A (国際協力機構) に助成金の申請をしておりました、マラリア対策としての「ルアノ地区でのマラリア蚊殺虫剤噴霧活動」、12 月 5 日付けで正式に契約を結びました。ただ、現地の天候の関係 (雨期になる前に噴霧を実施する必要がある) から、契約締結前に実施した噴霧活動 (11 月 19 日で終了) については支援の対象外となり、来年の事業について支援してもらえないこととなりました。今後、噴霧の効果等について皆さんにもお伝えします。

賛助会費納入のお願い

・ 認定 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業年度は 1 月から 12 月です。今年の実業年が今月で終了します。賛助会員の方でまだ賛助会費未納の方は、どうぞ賛助会費 (個人一口 5000 円、団体一口 10000 円) のご協力をよろしくお願い致します。

・ 入金を確認しました際には、日高からその旨メールを差し上げます。また当法人は認定 NPO 法人であり、ご寄付 (賛助会費含む) いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書 (賛助会費も寄附金と同様税控除の対象) をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高 (info@ormz.or.jp) までご連絡ください。

・ Web 口座をお持ちの方はネットからも振込みができます。詳しくは各銀行等にお尋ねください。

★ 郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★ 他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称 (全角) : トクヒ) ザンビアノヘンチイリョウヲシエンスルカイ

現地からの報告 (山元香代子先生)

11 月 13 日報告から

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。日本は大分寒くなっているのでしょうか。

こちらは、とにかく暑いです。先週2回激しい雨が降り、雨季が始まったようです。断水や停電はあいかわらずですが、仕方ないとあきらめています。先週の日曜日の午前中、マンガヒルのショッピングモールに行きましたが、大きな2つのスーパーを除いて停電で、店は閉じられ、レストランなども営業していません。ルサカの一番の繁華街でも停電で、ほんとうに驚くばかりでした。

準医師のムレタさんの所のヘルスポストとルアノのヘルスポスト（正式にはヘルスポストではありませんが、コミュニティの住民はそう呼んでいます）で薬剤などの盗難がありました。ムレタさんの所はドアの鍵をこじ開け侵入したらしく、犯人は捕まり、いくつかの薬剤は返ってきました。ルアノは合鍵を持った人の仕業のようです。この人はウィッチクラフト（魔法）を操ると信じられている人で、怖くて誰も注意できないそうです。どちらも新しい鍵に替え、鍵の管理に十分気を付けるようお願いしました。

11月2日はムワンタヤでの巡回診療でした。患者数は103名、マラリア陽性は95名中2名と少なく、下痢や結膜炎の患者が多くみられました。ムワンタヤにはインド政府の支援でヘルスポストとスタッフハウスが建設され、看護師がすでに着任していました。そのため、ムワンタヤでの巡回診療は11月2日をもって終了としました。2013年5月15日から約3年半、月1回の診療を実施し、累計患者数は5242名でした。開始当初はなかなかコミュニティの協力が得られず、困り果てていましたが、地域ヘルスコミッティの責任者が変わってからとても協力的になり助かりました。今後の井戸の管理などお願いしました。

9日はルアノでの巡回診療。患者数は60名、マラリア陽性は54名中6名と少なく、性病の患者が多くみられました。彼らのパートナーも共に治療しました。



*夕方、井戸の水を汲みに来た牛車

ニャンカンガで2基、ルアノで2基の井戸の掘削は11月11日に終了。ニャンカンガでは巡回診療を実施している所では結局水がでず、少し離れたところに井戸ができました。水質検査の結果を待っている所です。

ルサカからEHT（環境保健技術者）も参加して、ニャンカンガとルアノでトイレ建設が始まりました。ルアノの住民はとても協力的ですが、ニャンカンガは今一つです。地域ヘルスコミッティの責任者のリーダーシップがないからだと言いますが、ヘッドマンを交えて何度か話し合いをしても、いつまでたっても同じ状況で、困っています。



トイレ工事を始めた様子

4日、11日にルアノでのマラリア蚊殺虫剤噴霧を実施しました。JICA（日本国際協力機構）からの基金を使っただけの活動だったのですが、契約書がいつ締結されるのかわからず、雨季は始まりそうで、JICAからのお金を待っているわけにもいかず、活動を開始しました。

朝3時にルサカを出発し、ルアノに8時ごろ到着。みんなで朝ごはんのチキンパイを食べながら、段取りを話し合い、その後出発。トンプエの井戸に着いたのが9時過ぎ。十分量の井戸水をタンクなどに詰め、噴霧を開始しました。今回はトンプエの近隣のルアノ郡の2村でも噴霧を実施する予定でした。この2村では連絡が十分ではなく、家の中のものをしまうビニール袋の配布も十分ではなく、噴霧に手間取りました。2人の訓練を受けた噴霧者にルアノの2人の噴霧者を加え、トンプエで6家族（8戸）、サパニ23家族（39

戸)、シトンコなど14家族(18戸)を終了したのが18時過ぎでした。途中でポンプが1台作動しなくなったのには困りました。噴霧者は服を着替え、手足を洗い、みんなで昼食兼夕食のミートパイをいただきました。ここまでは何とか順調だったのですが、帰路でバッテリーターミナルの調子が悪くなるなどの車の不具合が出て、結局ルサカに到着したのは翌日の1時でした。

*噴霧作業の様子 →

とにかく暑く、十分量の水をクーラーボックスに冷やして持って行ったのですが、とても足りず、みんなは井戸水を飲んでいました。

11日はマインガ15家族(24戸)、新しい村チブンムレ8家族(19戸)、マプランガ3家族(4戸)で実施しました。今回は別の車のバッテリーターミナルが不具合でしたが、何とか修理できました。また、スプリングを止める1本の取手折れてしまいましたが、走行できました。

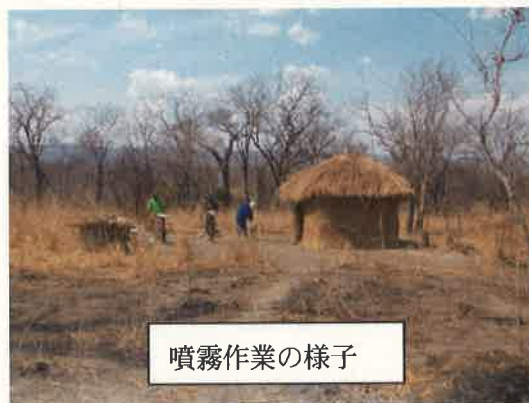
帰路には何とか支えていたもう1本の取手も折れてしまいましたが、それでも同日の11時半にはルサカに帰りつきました。

翌日の5日、12日には2人の運転手は休日にもかかわらず、車の修理に精を出してくれました。

ほんとうにみんな頑張ってくれます。私は暑くて、車が通らず歩かなくてはいけない所で、途中でへばってしまい、情けない限りでした。

あと2回噴霧を予定していますが、シェレニが117家族で、1日ではむずかしそうで、後3回になるかもしれませんが、とにかく雨が心配です。

とても忙しい毎日です。特に運転手がたいへんです。何とかみんなで力を合わせてがんばります。みなさま、お元気でお過ごし下さい。



噴霧作業の様子

11月27日報告から

みなさま いかがお過ごしでしょうか。先週東京は雪が積もったと聞きました。寒い毎日だと思います。

こちらは、昨日から本格的な雨です。この2日間降り続けていて、肌寒く感じています。そのせいか断水が無くなりました。停電はあいかわらずですが、水が出るのでとても助かります。

11月16日はニャンカンガの巡回診療でした。患者数は85名、マラリア陽性は78名中1名と少なく、下痢や結膜炎の患者が多くみられました。手伝ってくれるコミュニティのメンバーは1人のコミュニティヘルスワーカーを除いていつも女性だけ、10月末から始まったトイレ建設は全く進んでいませんでした。

以前からニャンカンガではなかなか男性のコミュニティメンバーの協力が得られず、何度も話し合いを重ねてきましたが、なかなか改善されません。診療終了後ヘッドマンの長(シニアヘッドマン)を訪ね、協力をお願いしました。

23日はルアノでの巡回診療。ルアノに向かう途中、昨年購入したランドクルーザーの左前輪がはずれ、運転手が約1時間かかり、ハブを外して応急処置をして無事にルアノに到着できました。患者数は53名と少なく、マラリア陽性は50名中5名、下痢や結膜炎の患者が多くみられました。

ニャンカンガで2基、ルアノで2基の井戸の水質検査の結果出て、ニャンカンガ、ルアノの1基ずつは、細菌がわずかにみ



シェレニ地区に設置した井戸

られました。ザンビア大学の水質検査の担当者からの指示で、11/22、23にそれぞれの井戸にクロリン 500g を投与しました。この2基は、3-4週間後、再度水質検査の予定です。ニャンカンガのもう1基の井戸は特に問題なし。ルアノのもう1基は細菌が多数検出され飲料水として不適格で、再度掘削すると連絡がありました。23日巡回診療の途中、その井戸に出向きましたが、きれいな水が出ていて、再度水質検査のために水を採取しました。11/25にはその結果がでて、細菌は0で、飲料水として大丈夫との返事がもらえました。再掘削の必要はなく、井戸会社の社長さんと共に安心しました。



消毒薬クロリンを入れている

22日のニャンカンガに出向いた時に、トイレ建設が少し進んでいたのほっとしました。

州・郡保健局が11/21から3週間マラリア蚊殺虫剤噴霧を開始するので、20日までしか噴霧用ポンプが借りられないことになりました。一番人口の多い地区、150家族以上が残っていて、どうしようか頭をかかえてしまいました。ザンビア人スタッフが11/17から11/20まで泊まり込みで作業をすると提案してく



トイレ工事の様子

れてお願いすることしました。ルアノで診療を実施している倉庫兼集会所に6名が宿泊して実施することになり、私は同伴できないので、3泊分の食料などを準備して、祈る思いで2台の車を送り出しました。噴霧日が変更になり、準備できていない家があったり、車の調子が悪かったりといろいろあったのですが、20日屋過ぎには無事にルサカに戻ってきました。160家族、294戸に噴霧を実施したのです、ルアノで合計229家族、406戸に噴霧を実施したことになります。ルアノをご存じない方には想像もつかないと思いますが、あの道路状況の悪い広大なルアノ地区の全村に噴霧を実施するなど、これはもう奇跡です。私は、巡回診療やいろいろな活動ができるのはザンビア人のがんばりのおかげだと心から思います。まじめに懸命に仕事をしてくれるザンビア人スタッフに感謝の気持ちでいっぱいです。

噴霧後1-2か月子供は家の中に入れないなどの誤った情報が流れたり、はっきりとした理由は言われずに噴霧を拒否された家が8軒、雨季の前で引っ越しの最中で屋根のない家に住んでいて噴霧ができなかったりと、いろいろな問題が出てきましたが、今後みんなで話し合っ解決していこうと思います。今後のマラリアの患者の推移を注意深くみていくつもりです。

今回はトンプエの近隣のチサンバ郡ではない村14家族、18戸の噴霧も実施しましたが、みなさんとても厳しい状況で生活していることがよくわかりました。空き家になっている家が多くみられ、なぜかと尋ねると水がないので、水を求めて移動していくのだと説明を受けました。医療サービスを全く受けられない家族もまだたくさんいます。ムワンタヤでの診療が無くなったので、月の第1週の水曜日はトンプエで診療を実施しようと計画しています。もちろん雨のために道路が通れなくなったら行けませんが、できる限りやってみようと思ってきました。



ある家の様子：隙間だらけです

忙しく、毎日を過ごしています。雨季に入り、道路の状況がとても心配です。何とかみんなで力を合わせてがんばります。みなさま、お元気でお過ごし下さい。

皆さんからの声

・遠い国ザンビアでへき地医療に努力しておられる山元先生に敬意を表したいと思います。そして日本からこの活動を支え続けておられる日高先生にも合わせて敬意を表したいと思います。

また、日本の若い医者や医者の卵さんが、出向いて悪条件の中活動しておられることには頭が下がります。

この世のなか、損だとか得だとか物欲のみで動く人間が多い中、皆さんの活動は貴重なものです。

私は年金受給者で84歳なので、何もご協力できません。雀の涙ですがお許しください。

この事業に係っておられる皆様のご健康を心よりお祈りしています。(福岡市、松延公平様)

・『ORMZ ニュース 第63号』ありがとうございました。

「世界の人びとのための JICA 基金」活動事業の助成金の結果はいつ出るのでしょうか？ うまく下りるといいですね。山元さんの記事によるとマラリア殺虫剤噴霧は大いに効果があるようですから、その費用が支援されるのであれば大いに助かると思います。

高温、断水、車の故障は日常茶飯事のように書かれていますが、大変だろうとお察し申し上げます。

巡回診療に同行した医学生の報告では、「医療の先端に目が行きやすい日本の医療から一步外に出て、末端への医療を推し進めることが世界規模の医療課題に非常に重要なことであると痛感しました」と書いている三谷さんの将来に期待するものです。金さんの「先進医療や医療の進歩しか考えていなかった私に、今回の経験はまさに本当の医療の役割を気づかせてくれました」という言葉に心強く感じました。

寒さが増してきましたね。お体を大切に、ご活躍ください。(宮崎市、平瀬 清様)

・ORMZ ニュース有難う御座いました。

山元先生のご報告読ませていただき、医療以前の悪路・停電・断水等に直面し本当に大変ですね。

一つ一つクリアしなければならず、それにも先生が関わっておいでのご様子、相当の神経・体力・根性がなければと思います。

でも先生のお身体が心配です。やはり日高様方のご支援や現地へおいでになる医大の先生・スタッフと皆様の協力がより必要とされますね。

寒さに向かい充分ご自愛なされご活躍下さいませ。(ソロプチミスト山梨芙蓉 蜂須賀様)

* 皆さんからの感想や温かい励ましの声に元気づけられています。メールをありがとうございました。

以上

◎どうぞ今後ともご支援のほどよろしく申し上げます